

自分の排尿状態をチェックしてみましょう

世界共通で使われている前立腺肥大症の症状の客観的な評価法としては、IPSS（国際前立腺症状スコア）とQOL（困窮度）スコアを調べることで重症度が判定できます。治療方針の決定や治療の効果の判定の参考となります。



◆ IPSS（国際前立腺症状スコア） ◆

どれくらいの割合で 次のような症状がありましたか	全くない	5回に1回未満	2回に1回未満	2回に1回くらい	2回に1回以上	ほとんどいつも	スコア
①排尿後、尿かまだ残っている感じがありましたか？	0	1	2	3	4	5	
②排尿後、2時間以内にトイレに行きたくなったことはありましたか？	0	1	2	3	4	5	
③排尿の途中で尿が切れることがありますか？	0	1	2	3	4	5	
④排尿を我慢するのがつらいことがありましたか？	0	1	2	3	4	5	
⑤尿の勢いが弱いことがありましたか？	0	1	2	3	4	5	
⑥排尿時にいきむ必要がありましたか？	0	1	2	3	4	5	
⑦夜寝てから朝起きるまで、何回トイレに行きましたか？	0回 0	1回 1	2回 2	3回 3	4回 4	5回 5	

合計点数と評価	7点以下 軽度症状	8～19点 中度症状	20点以上 重度症状	合計 点
---------	--------------	---------------	---------------	---------

◆ QOL（困窮度）スコア ◆

	大変満足	満足	ほぼ満足	なんとも いえない	不満気味	不満	スコア
現在の排尿状態が今後一生続くとしたら、どう感じますか？	0	1	2	3	4	5	6

得点の意味	0～1点軽症	2～4点中等症	5～6点重症	点
-------	--------	---------	--------	---

IDNo. _____ 氏名 _____ 記入年月日 _____ 年 月 日